

交渉結果報告書

市長公室 人事課

交渉内容 総合的見直し等について
交渉日時 平成28年1月28日(木) 15時00分～17時00分
交渉場所 8F 大会議室
交渉出席者 当局側 宇野副市長 中上市長公室長 星川副部長 波戸瀬課長
岡部副課長 西川人事研修係長 雲丹亀給与係長
組合側 小野執行委員長 副執行委員長 書記長 書記次長他執行委員等 計11人

概要	総合的見直しについて交渉を行った。
組合の主張	<p>① 前歴是正は二つの視点がある。年数換算を変えるなどの対象者を広く是正する方法と、較差の大きいところに絞って是正していく方法がある。前歴を多く持っている職員はいつまでたっても直採職員と較差があるままである。ラスパイレス指数が上がっていることはわかるが、だからと言ってこの課題を先送りして良いのか。ラスパイレス指数には大きく影響しないやり方として、最大格差是正要求に絞っている。スピーディに解決に取り組むべきだ。住居手当は、以前から確認しているが宇治市としてどうしていくのかを明らかにしてほしい。</p> <p>② 見舞金条例の議会への対応はどうか。組合が展望を持てるような話はないのか。合意してから10年の節目になる。3月議会がだめなら6月議会か。そこもだめなら今後も無理になるのではないのか。条例改正が遅れていることによって影響が出ている人がいる。合意したものができていないとなると何を持って信用するのか。これまでいろいろな課題を解決した。3月か6月議会に提案できないと納得できない。</p> <p>③ 年末年始加給金の条例改正を提案する一方で見舞金条例は提案しないのか。</p> <p>④ 給与制度の総合的見直しは、どこが総合的なのか。国が言うところの総合的見直しは給料は減額しつつ、その分の配分を変えている。宇治市の総合的見直しは給料表を改定して引き下げだけの内容になっている。</p> <p>⑤ 国が行った総合的見直しの精神を反映すべきである。国の引き下げよりは緩和された京都府の給料表を使っていることや、国家公務員の調整額を使用することも努力かもしれないが、宇治市としての総合的見直しとは何か、考え方が見えない。</p>

当局の主張	<ul style="list-style-type: none">① 今年のラスパイレス指数に影響がなくても階層変動の影響もある。なかなか難しい課題だと考えている。住居手当は京都市の支給方法をよりどころに検討したいと考えていたが、見直しの方向である。② いつとは言えないが、議会があるごとに対応するということである。条例提案に向けた環境整備をしており、これまで以上に対応している。影響が出ている人がいることは十分意識している。遡及適用は技術的には可能と考えている。③ 具体的にいつ出すとは言えないが何が出来るのか考えたい。努力の跡が見えないと言われるかもしれないが、引き続き努力したい。④ 国は配分を変えたが宇治市は下がるだけという指摘は受け止める。何を持って総合的見直しをやったのかという見方があるが、宇治市としては検討した内容が、本市の総合的見直しということである。⑤ いただいた意見は持ち帰りたい。
-------	---